

木更津駐屯地におけるオスプレイ定期機体整備について

平成28年12月22日

千葉県総合企画部政策企画課

電話：043-223-2205

今月13日に発生した沖縄県でのオスプレイ不時着水事故を受け、県では翌日14日に、安全確認ができるまで木更津駐屯地における定期機体整備の運用開始を見合わせるなど要請したところです。

昨日21日、北関東防衛局から次のとおり説明があり、県との間でやり取りが行われましたので、お知らせします。

1 北関東防衛局の説明概要

- ・ 事故の状況・原因等に関して、米側から得られた情報等に基づき、防衛省・自衛隊の専門的知見に照らせば合理性が認められ、飛行再開は理解できる。
- ・ 今回の事故は、空中給油時にプロペラがホースに接触したことによるものであって、機体自体に問題はない。
- ・ 防衛省としては、県及び木更津市からの要請を受けて必要な対応を行っているところであり、来年1月から木更津駐屯地における機体整備を予定どおり開始したい。

2 県からの申し入れ

- ・ 木更津駐屯地では、オスプレイの定期機体整備を行うのであって、空中給油を含む訓練が行われないこと。
- ・ また、木更津市が要請している①覚書の締結、②情報提供のルールづくりが実現されること。

上記2点について県から申し入れ、防衛省の対応を確認するまでは、木更津駐屯地での定期機体整備の見合わせを要請中というスタンスは変わりがないことを伝えた。

3 北関東防衛局の回答

県からの申し入れに対して、北関東防衛局からその場で次のとおり回答があった。

- ・ 木更津駐屯地における定期機体整備において、空中給油を含む訓練は予定していないと承知している。
- ・ なお、木更津市が要請している2点については、防衛省で現在検討中である。